

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号	26	学校名	大垣商業高等学校（全日制）
------	----	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	西濃地域に根差した歴史と伝統のある商業高校として 地域や企業等と連携した課題解決力を身に付ける教育を通して 確かな学力やビジネスマナーを備え、これからの地域産業に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	1 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな身体の育成 2 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事実を客観的に分析し、新しい価値を創造するとともに、地域を支えるために行動ができる生徒</li> <li>・ 課題解決に向けて論点整理ができ、課題解決に向けた方策等を立案・提案することができる生徒</li> <li>・ 事実を多面的に捉え、論理的に考えをまとめることができる生徒</li> </ul>	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業等と連携した取組（商品開発、販売実習等）及び高度で専門的な職業能力を有する人材による講義・実習等の学習活動</li> <li>・ ICT等を活用しながら、ビジネスで役立つ知識と技術等を身に付けるための実践的・体験的な学習活動</li> <li>・ 答えが一つでないことの多い経済社会にあって、課題に対し論点を明確にし、他者と協働しながら実行、検証する課題探究的な学習活動</li> </ul>	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「志」…高い目標を持ち学習活動や部活動等に積極的に取り組み、自分の未来を切り拓く意欲を持つ生徒</li> <li>・ 「向上心」…ビジネススキル等を身に付けるために、目的意識を持ち目標に向かってチャレンジする生徒</li> <li>・ 「思いやる心」…本校の生徒であることに誇りと自信を持ち、他者を尊重し、思いやりの心を持つ生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと岐阜での活動を通じた地元企業との連携によるSDGsの推進</li> <li>・ 「主体的・対話的で深い学び」が実践できるようなICTの授業活用についての意識向上</li> <li>・ 進路意識を高め、高い進路目標へ取り組ませるための指導方法の確立と生涯学習を見据えて継続的に学ぶ姿勢の育成</li> <li>・ 交通事故減少とヘルメット着用率の上昇</li> <li>・ 心の悩みを抱える生徒への組織的な対応</li> </ul>		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	地域社会の一員として地域に誇りを持ち、すべての生徒が地域社会活性化のための社会貢献やSDGsを意識した地域連携に係る取り組みを推進する	
	学習指導	生徒一人ひとりの特性を総合的に捉え、個に応じたきめ細かな指導によって、確かな学力の確立と専門性の深化を図るとともに大学等との連携を通じた高度な資格の取得を目指す	
	進路指導	生徒それぞれの「実現したい進路」を達成するために必要な支援体制の確立と進路実現を目指す	
	生徒指導	挨拶の励行など基本的生活習慣を確立し、品位ある学校生活を実現するとともに、教育相談体制の充実および安心・安全な学校生活を確立する	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	(1)外部連携による教育力を活用した「ふるさと教育」への取組	施策Ⅱ-13	(1)生徒の取組満足度と生徒による自己評価	地域の未来を担い、ともに育つ学校を目指した外部連携に注力した教育活動を継続することができた。	A	外部連携に関する教育活動について、生徒の肯定的評価は82%という高い満足度を評価集計結果から確認することができた。	B
	(2)学校運営協議会等において意見や要望等を聴取する機会の設定	施策Ⅰ-7	(2)協議会等における意見・要望事項を踏まえた実践	学校運営協議会を3回開催し、委員から意見や要望などを聴取することができた。		学校運営協議会委員に、授業見学や外部連携教育成果発表の機会を設け、本校の教育活動状況について肯定的意見を聴くことができた。	
学習指導	(1)全教科での公開授業、全教員による授業参観の実施	施策Ⅱ-8	(1)公開授業を実施する教科・科目数等	公開授業週間を設け、全教科での公開授業、全職員による授業参観を実施することができた。	A	生徒の意見をもとに全教員がより分かりやすい授業の実施へと取り組んだ。	B
	(2)授業改善に係る生徒意見の聴取と教員の改善計画・反省の実施	施策Ⅱ-9	(2)授業改善計画書及び改善報告書の提出	7月に実施した授業改善に係る生徒意見の聴取をもとに全職員が授業改善計画を立案し取り組んだ。		専門教育部では、全国商業生徒研究大会では、2年連続最優秀賞を受賞した。全商プログラミングコンテストでは、2本のプログラミング作品が優良賞という評価をいただいた。外部連携事業や授業での学び、部活動での学びなどが、これらの成果につながった。	
	(3)計画的な学習及び学習習慣の確立に向けたスケジュール管理手帳の活用推進	施策Ⅱ-8	(3)スケジュール手帳の活用状況	年度初めにスケジュール手帳の意義や活用方法について担任から説明をし、SHRや集会、講話などの機会に積極的な活用を指導した。			
進路指導	(1)就職試験対策の充実	施策Ⅱ-8	(1)就職希望者の試験対策の取組状況	就職試験の対策については、外部講師によるビジネスマナー講座などでより深い指導ができた。	B	就職希望者は、対策をしっかりとったことにより、全員が希望を叶えることができた。	B
	(2)大学等入試対策の充実	施策Ⅱ-8	(2)進学希望者の入試対策の取組状況	入学試験の対策については、業者のツール（志望理由書・小論文の書き方、情報Iバック等）を利用し、より充実した指導ができた。面接指導についても外部指導者を招聘して一定の効果があった。継続学習については、四大進学者については共通テストの対策講座の視聴を促し、短大・専門学校進学者については読書感想文の提出を実施した。		進学希望者は、希望通りの進学先に合格しなかった生徒もいたが、1月の共通テストに向けて頑張った生徒が数名おり、目標高く挑戦することができたことはとてもよかった。就職内定者の継続学習ができなかったため、来年度は年度当初から継続学習の内容を決めて実践したい。	
	(3)就職内定者・進学合格者に対する継続学習	施策Ⅱ-8	(3)内定者・合格者の継続学習への取組状況	身だしなみ指導は、定期指導として年間3回、学年ごとに実施した。情報モラル教育は3年生が自分の経験や調査した内容を通して分かり易く下級生に説明した。年4回の心のアンケートや年2回の定期教育相談を利用し、悩みを抱える生徒へ、教育相談を中心とした教員間の体制を強化、連携し対応した。自治委員、生徒会執行部、有志の生徒の計97名がMSLに登録し様々な啓発活動に取り組んだ。		全体的に落ち着いた学校生活を送ることができている。学年・学科・他の分掌との連携を図り啓発することが課題である。長期欠席者への組織的な対応としては、個別対応会議を実施するなど学年会との連携をさらに強化し、保護者との連絡を密にする。ヘルメットの着用率の向上と交通安全に対する意識の高揚を図るため、MSLを中心とした啓発活動をさらに充実させる。	
生徒指導	(1)ビジネスマナーの徹底	施策Ⅱ-8	(1)遅刻回数、挨拶の状況、身だしなみ指導違反者の人数、学校生活の様子		B		B
	(2)悩みを抱える生徒への対応	施策Ⅰ-3	(2)教育相談室・保健室への入室件数、いじめの相談・報告件数、カウンセリング件数				
	(3)自治委員・MSL活動による交通安全運動、ヘルメット着用の啓発	施策Ⅲ-19	(3)交通事故件数、ヘルメット着用率				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年1月7日

学校関係者評価

実施日：令和8年1月27日

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『伝統訓「土魂商才」を基調として地域の未来を創造し担い手となって地域社会に貢献できるグローバルな人材を育成する』という、学校方針を周知して、生徒が主体的に教育活動に参加する意識を高める。</li> <li>・ 各教科の授業改善の取り組みを共有し、それぞれの授業の中で活かす。</li> <li>・ 全職員での進路指導の取組の強化に継続して取り組む。</li> <li>・ 警察署等外部の機関との連携をして、生徒はもちろん教職員の交通安全、防犯意識を高める。</li> <li>・ 命の大切さを学ぶことのできる講話を取り入れ、思いやりの心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部連携事業が充実しており、学校内外において生徒が主体的に取り組み、多くの成果を上げている。課題研究の取組では、生徒自らが課題を設定し、検証した内容をプレゼンテーションする姿が見られ、様々な力を身に付けていることがうかがえる。簿記部においては、知識を生かした地元企業の経営改善に関する取組により、全国高等学校生徒商業研究発表大会において最優秀賞を2年連続で受賞しており大変素晴らしい。</li> <li>・ 進路指導については、生徒一人ひとりの進路実現に向け、きめ細かく丁寧な指導が行われており、その成果が着実に結果として表れていると感じられた。外部連携事業での取組が、生徒のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上につながり、進路実現に結び付いている点は、大変素晴らしい。</li> <li>・ 生徒指導については、気持ちの良い挨拶をする生徒が多く、日頃からの継続的な指導が行き届いていることが感じられる。また、悩みを抱える生徒に対して、学校内で連携を図りながら対応していただいております、大変ありがたく感じている。</li> </ul>
---	---